

ぽぽぽつうしん No.4

◀設立日▶2012.6.6
◀発行日▶2015.3.10



「^{プラス}バリアフリーマップ+」活動中！

ぽぽぽねっとには「障がい児・者の居場所づくり」部会があります。重度の障がい児・者とその家族が中心となり、日頃から在宅での生活がより充実したものになるようにと、日常生活の中から問題点をだし、話し合いを重ねています。

26年度は「バリアフリーマップ+」を作成するために活動してきました。まだまだ調査は継続中ですが、今回はその様子をご紹介します。

●なぜ「バリアフリーマップ」？

個々の生活をしていく上で、外出時の問題点が度々挙げられます。初めて訪れるお店は、車椅子が通れるだけの幅があるのか、段差があるのか、駐車場が近くにあるのか、休憩する場所があるのか、オムツ交換する所があるのかといった事を事前にお店に問い合わせているのが現状です。私たちは出かける時にいろんな持ち物が必要です。せめて、これらの情報が事前にわかるだけでもどんなに楽になることかと日々感じています。

もちろん、情報は全くないわけではありません。石川県のホームページなどである程度の情報は得られますが、私たち重度の障がい者のカスタムメイドの車椅子になると、既成品の車椅子が通れるところでも、通れない事があることを知っています。もし、調査の基準が底辺の重度障がい者の視点から見上げたなら、その上に重なっていく、高齢者、乳幼児、妊婦さんも活用出来るのでは？と思い至り、「バリアフリーマップ」作成に取り掛かることにしました。

●「バリアフリーマップ+」の“+”とは？

バリアフリーの基準を満たしている施設だけを見れば話は早いのですが、それだけに限定されれば、上記の理由から私たちの行動範囲は極めて狭まってしまいます。しかし、こんなのはどうでしょう？

- ・店員さんの「入れますよ！」の一言で、お客さんまでもが備品や席を動かしてスペースを空けて下さったソースカツ丼の小さなお店
- ・車椅子席で映画を見た後、おむつ交換の為に職員医務室を快く貸して下さいましたショッピングモール
- ・裏口スロープから入れる酒造作りの創作レストランや出口から招き入れて下さった手打ちうどん屋さん
- ・段差超えを手伝って下さった駅前のレストラン

これらは、店員さんやお客さんのお手伝いで実際に利用できた話です。このように、お店や施設の方が、困っている事に気づきさっと対応して下さいた時は、不便な段差が一段低く感じられ、気持ちよく利用させて頂く事ができます。もちろん、施設等のハードには限界があると思いますが、私達にとって本当に必要なのは人的配慮です。そう、目に見えない「気づかい=おもいやり」がこのプラスの部分であり、この形のない人的配慮の部分独自のスタイルでマップに表現できたらと思ったわけです。



●どのように調査しているの？

まず事前に趣旨を説明し、調査の同意を得てから、日程を調整し調査をさせていただきます。その際、以下の点に注意をしています。

- ・調査員は当事者を含む人員で構成し、調査員である名札を付ける
- ・調査シートに基づいて計測、撮影をする
- ・「おもいやり」「気配り」といった人的配慮（+の部分）が可能な確認する
- ・後日公開する内容を確認して頂き、公開の同意を得る。

※小松市内の過去3年の新施設を優先し、現在約30店舗の調査を行いました。

●調査から感じた事は？

設備が万全でも人的配慮が足りないと思われるところも中にはありましたが、逆に設備が整っていないでも「今後の店舗作りの参考にしたい」とか「設備の改善はすぐに出来ないが、スタッフ教育を行い、必ずスタッフで対応できる体制を作りたい」など、うれしいお声を頂いたところもあります。実際に当事者と一緒に調査に歩き、様々な対応と接する中で、改めて「人的配慮」が一番大切なことだとわかりました。

又、当初は当事者の部会員でスタートした調査でしたが、新聞報道等で知られるようになった事もあり、小松市自立支援協議会、小松市立短期大学バリアフリー研究会からも協力が得られるようになりました。少しずつ支援の輪が広まり、新たな協力体制が整った事は大きな成果です。今はまだ情報量の観点から、紹介程度の発信準備をしていますが、後には、より当事者に寄り添った情報になるよう創り上げていきたいと思えます。

最後に、ご協力頂きました施設の皆様、貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。これから調査させて頂く施設の皆様、どうぞよろしくお願ひ致します！

情報&協力調査員募集中！

皆様のお奨めのお店、こんな事があったという“+（プラス）”の情報を下記アドレスまで送ってください。よろしくお願ひいたします。

<ぽぽぽねっと事務局>

popopo.net77@gmail.com

少しずつ活動が認められてきました！

11/23 「新しい医療のかたち賞」受賞しました！

医療ジャーナリストの村上紀美子さんに推薦して頂き、今年度100を超える応募の中から見事ぽぽぽねっとが「新しい医療のかたち賞」を受賞しました。

この賞は、医療の質・安全学会の医療の質と安全の向上をめざす市民・患者と医療者・研究者のためのパートナーシッププログラムの一環として、2007年から毎年選ばれているものです。賞には「患者を中心とした取り組み部門」「医療者・医療機関を中心とした取り組み部門」「地域社会の取り組み部門」の3つの部門がありますが、ぽぽぽねっとの活動は「地域社会の取り組み部門」での受賞となりました。

11月23日、数名の仲間達と共に幕張メッセでの授賞式に参加し、後日小松市役所へ和田市長を表敬訪問し、受賞のご報告をさせていただきました。設立3年目にしてこのような大きな賞を頂いたことは大変うれしく、地域の中での役割を改めて考える機会となりました。これからも襟を正してがんばりますので、皆さん応援よろしくお願ひ致します。



12/28 稚松地区社会福祉協議会さまより 歳末助け合いのご寄付を頂きました！



宮西会長さんはじめ社協の皆さまにぽぽぽねっとの活動についてお話をさせて頂く貴重な機会を頂きました。子育てから看取りまで幅広いぽぽぽねっとの活動についてご理解頂き、温かいご示唆も頂きました。又、翌1月には民生委員様の会合でもお話をさせて頂きました。ありがとうございました。

ぽぽぽ保健室で作った“ケア帽子”を小松市民病院にお届けしました！



ぽぽぽ保健室では、料理を作ったり、物作りをしたり、おしゃべりをしながら一緒に手を動かします。その中で悩みをお持ちの方にはご相談に乗らせて頂いています。

12月はがん患者さんに使用して頂く“ケア帽子”作りをしました。未使用のタオルを持ち寄り楽しく針仕事をしましたが、完成しなかった分は介護施設の方にお手伝いして頂きました。また、会員のおばあちゃんにはとても

もかわいいミニマフラーを作って頂き、これらを袋詰めし、メッセージをつけて、12月23日に小松市民病院にお届けしました。

ぽぽぽ保健室を飛び出して、今回はたくさんの方に協力して頂きましたが、その皆さん方にも張り合いを持って頂くなど、双方にとってHappyなクリスマスプレゼントとなりました。

プラス

■「+ぽぽぽ」でいのちにやさしいまちづくり

ぽぽぽねっとの理念は、「いのちにやさしいまちづくりのための普及、人材育成、相互に助け合える地域のネットワークづくりを通じて、病いや障がいを抱えても子育て中でも、地域でその人らしく主体的に生きていくことができる社会の実現を目指した活動を行うことです。つまり、子どもから高齢者まで、すべての人に対して、多様な職種や立場のボランティアをコーディネートし、行政や企業、地域の医療保健福祉関係者と協力しながら、困難を抱えている人とその家族の支援に関する事業を行い、人のやさしさにあふれた思いやりのある誰もが希望の持てるまちになることに寄与することが目的です。」このようなぽぽぽねっとの理念を「+ぽぽぽ」(プラスぽぽぽ)と呼ばせていただいています。

- 「+ぽぽぽ」とは、
- ①とことん当事者(の主体性と経験が活かされる)、
 - ②人として出会う(ことができる人材育成)、
 - ③十位一体のネットワーク

です。今あるものに「+ぽぽぽ」するとほんの少し未来が明るく、気持ちが軽やかになるような気がします。

ぽぽぽねっとの活動の原点は、「出会い」、「語り合い」、「共に居て」、「共に活動する」です。すべての活動のはじめの一步は、「出会い」からはじまります。東京の上野で今から40年も前に浜田クリニックという精神科クリニックを拓いた浜田晋先生は、遺された臨床メモに、医療者にとって「出会い」もひとつの技術であると、「出会い」の重要性を語りかけていらっしゃいます。この出会いのポイントは、「その人らしさの追求」です。病いを抱えた方との出会ったとき、「バラの花が好き」「旅行が好き」「折り紙が得意」といったその人らしさを知り、あえて病気でないところでつながっていくことで、その人らしさを追求すると不思議と病気はかすんでいきます。

「十位一体のネットワーク」とは、在宅療養者や介護者、子育て中の親子等の当事者を含めた地域住民、医療分野、教育分野、行政、立法、企業、報道、宗教学、建築学、人生哲学等、社会を構成する各分野が十位一体になって協働、共創することです。お一人お一人が希望に向かって生きているという手応えを感じることができることを「リカバリー」(以下図に示します)といえます。十人十色の希望に伴走的支援ができる十位一体のネットワークは、地域の在宅医療・看護・ケアがつながり、育まれ、広がっていくことにつながり大きな安心を育みます。「人として出会う十位一体のネットワーク」を通じて、がんや認知症など、病いや障がいを抱えても誰もが「幸せ」と感じて暮らせる「コミュニティヘルス」のあるまちづくりを目指しています。

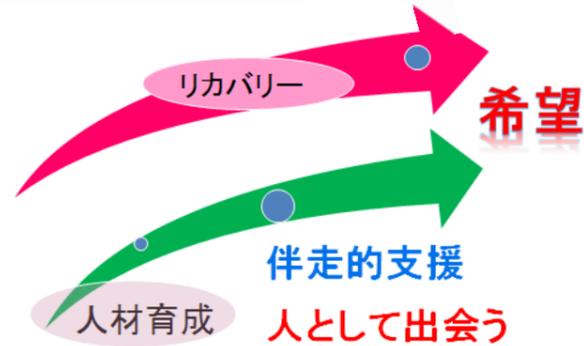
私事ですが、この春、金沢大学を退職いたします。これからは、小松に根をおろし、小松をキャンパスに「コミュニティヘルス」のあるまちづくりを目指して、場づくり、人づくり、つながりづくり等、「人の心を動かすしかけづくり」を丁寧にしていきたいと思ひます。どうぞ今後ともよろしくお願ひいたします。

理事長 榊原 千秋



※リカバリーとは?

人は生物学的な意味で病いや障がいは完治しないかもしれないが、人が生きるという実存的な意味で自分の生活や人生を回復することができる



■聞き書きに魅了されつつあります!

小松での聞き書き認知度が低い中、今年度から小松を中心に「聞き書きカフェ」というカフェスタイルで、講師に天野良平先生をお招きし、ご自身が聞き書きに興味を持たれたきっかけや聞き書きのいろはなど、初心者にも馴染みやすい内容でお話して頂きました。受講生は毎回13~14名、当初は6月、8月、10月の3回の予定でしたが、なんだか盛り上がり、2月14日に特別に第4回目を開催することとなりました。この日の受講生も12名、天野先生の講義でまた「聞き書き」というものに魅了されました。少しずつ実践に入っているメンバーには、今回までにやってみた聞き書きやまとめ方についてアドバイスを頂きました。

参加者は次第に仲間になりつつあり、いい形が生まれています。小松の聞き書き、これから益々楽しみです。27年度も引き続き「聞き書きカフェ」を開催します。会員手作りの美味しい軽食もさることながら、是非、一度参加され、その魅力を体験してみてください。



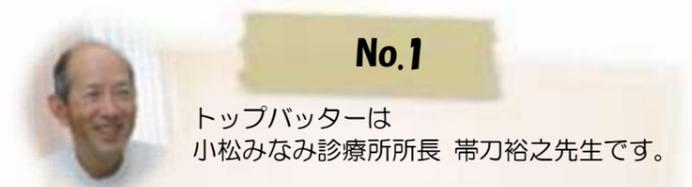
■「当事者を真ん中に」という感覚が大切

小松市から業務委託を受けて、地域包括ケアの担い手育成を目的とした「こまつ福祉人材プログラム」を開催させて頂いています。対象は市内で介護サービスに従事する者、同一事業所で5年以上の経験がある者、現場リーダー又は今後現場リーダーとなる予定の者、全ての条件を満たした約30名の方が施設長の推薦を受けて参加されています。

講座は全4回、毎回宿題もありますが、忙しい業務の中皆さん真剣に取り組まれています。ワークショップなどで熱心に語られる姿を拝見し、小松の明るい未来を感じました。

■特別企画

～地域でがんばっている方を紹介します!～



僕は小松みなみ診療所で医者をしています。今日も午前中は外来でした。1歳の子供が診察に来ました。午後は95歳の方の往診でしたが、住み慣れたお家で穏やかに過ごされていました。地域の皆さんの身近な所で、元気で健康な人生を過ごせるようにお手伝いをさせて頂くのが僕の仕事です。

榊原さんとは約10年前、小松市のお寺さんへ詩人の谷川俊太郎さんのお話を聞きに行った時に会いました。彼女の大切にしているものと僕の想いが重なり、すいぶん付き合いも長くなりました。現在は仕事の傍ら、ぽぽぽねっとの理事としていろんな行事に参加し、楽しく活動しています。新たな出会いもあり、日々刺激や気づきもあります。

「いのちにやさしい」は素敵で大切な言葉です。僕はこの言葉を大切に、医者として一人の人間としてこれからもまちづくりに参加していきたいと思ひます。

<ぽぽぽのいえ案内図>



■Information

◆27年度会費の納入をお願いいたします!
新規個人会員・団体会員・協力会員も大募集です!

【正会員】総会にて議決権を有します。
(個人)入会金:2,000円 年会費:10,000円
(団体)入会金:2,000円 年会費:10,000円(一口より)

【協力会員】資金的に援助します。
年会費:3,000円(一口より)

【お申込み】※1年は4月1日~3月31日までです。
○申込用紙に必要事項を記入し郵送又はFAXにてお送り下さい。

○振込先

| |
|---------------------------|
| ゆうちょ銀行 |
| 口座記号・番号:00770-7-61057 |
| 加入者名:いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと |

※郵便局以外の他銀行よりご入金される場合

店名:079(せりけり)

振込先:いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと

口座番号:0061057 預金種目:当座

◆27年度、ボランティア保険加入受付中!

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償するボランティア保険(Aタイプの基本プラン)に毎年加入しています。
対象は正会員の皆さんです。ご加入を希望される方は、4月30日(木)までに27年度の会費に100円追加してお支払いをお願いします。

注)ボランティア保険の加入は1口のみです。
他団体にて加入済の方は加入する必要はありません。

■■■お問合わせ・お申込み■■■

NPO法人 いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと

TEL・FAX:0761-23-7307

E-Mail:popopo.net77@gmail.com

編集後記

気持ちのいい晴れた日にふと空を見上げました。なんて気持ちがいいんだろうと思うと同時に、いつの間にか空すら見上げる余裕も持っていない事に寂しさを覚えました。大人になったから?仕事、夕飯の買い物や準備、子供の習い事の送迎、いつも時間に追われていて、移動はもっぱら車のみ。もちろん、しっかり前を見て運転するだけ。それに対して子どもの頃は、登下校中に道草をしながら四季を感じいろんな事を発見していたっけ。冬から春へ季節が変わる時、陽ざしに照らされた雪解けの雫がキラキラと木の葉から落ちる時、春の訪れを感じてわくわくしたものです。忙しいからこそ、大人になってちょっと立ち止まって自然を感じる余裕、周りを見渡す余裕は持ちたいものですね。さて、今回のキーワードは「プラス」、春の陽気にあわせて自分なりのプラスをやってみましょうかね!

(Y・N)

ぽぽぽつうしん No.4

2015年3月10日発行

HP: <http://square.umin.ac.jp/popopo/>

《編集・発行》

NPO法人 いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと

〒923-0028 小松市榊町ホ11番地1

TEL・FAX:0761-23-7307

E-Mail:popopo.net77@gmail.com

